

令和元年度事業報告  
(平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人 映像産業振興機構

## 1. 事業の経過

令和元年度の通常総会（6月19日開催）でご承認いただきました、本年度の事業計画書、会計収支予算書に基づき、人材育成事業、内外の市場開拓等に関する事業を実施致しました。各事業の状況につきましては、次の通りであります。

## 2. 主な事業の実施状況

### （1）人材育成事業

① 短編映画製作等を通じた若手映画作家人材育成（ndjc2019） 文化庁  
今年で14年目を迎えた本事業は、新たに年齢制限（35才）を設け、より若い世代に門戸を開く趣旨で募集を開始し、24の映像関連団体等より有望な若手作家の推薦をいただき、応募38名の中から20名（15名より人数拡大）がワークショップ（7月26日～8月4日）に参加しました。

さらにその中から3名（5名より減）の作家が、制作プロダクションのご協力のもと、35ミリフィルム撮影による短編映画を完成させる製作実地研修を実施しました。2/4の東京・丸の内TOEI①）を皮切りに京都、大阪、名古屋にて、完成作品の合評上映会、2/27より東京、名古屋、大阪にて一般の方に向けた有料の劇場公開を実施しました。

昨年度までに完成した67作品についても、引き続き発表機会（劇場上映、映画祭等）の提供を行っております。

また今年で2年目の「90分程度の映画脚本開発」。今までの参加作家を対象にさらなるステップアップを目的で、5月に募集、10/7に1次選考者5名による業界関係者を招いた企画プレゼンコンテストを開催、11月から最終選考者1名の脚本開発を実施し準備稿を完成させました。

さらに昨年度開発された準備稿は、本年度、「長編映画の実地研修」として劇場用映画を製作、1月に初号試写を終えました。この作品は来年度以降、劇場公開に向けて、着々と準備中です。

② 平成31年度映画スタッフ育成事業

文化庁

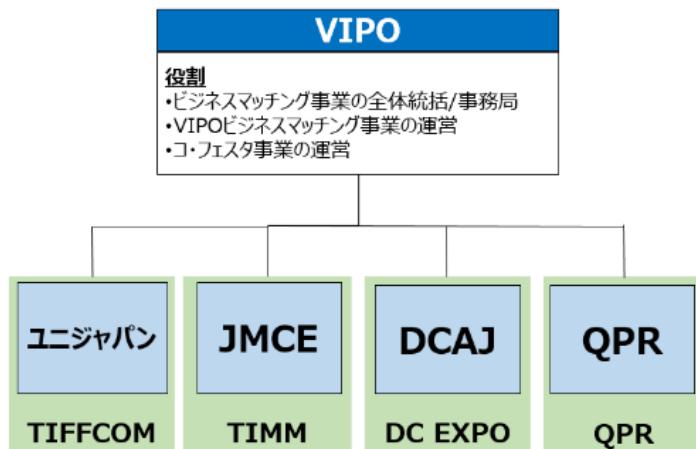
昨年度に引き続き、将来の映画スタッフを育成するため、映画製作の現場での職業体験を希望する学生をインターンとして適切な映画製作現場へ派遣する人材育成事業を受託しました。将来の業界人材の育成につながるよう、昨年度の実績をベースとして、より多くの学生の実習を実現させるべく、製作現場及び教育機関に積極的に働きかけを行いました。年間で 21 校(昨年 19 校)から 53 名(昨年 49 名)の学生が 18 作品(14 社)の製作現場で実習を行いました。

- ③ 映画・映像人材育成事業 京都府
- 京都府との事業は、昨年に引き続き『京都映画企画市』『京都デジタルアミューズメントアワード』を受託しました。
- 『京都映画企画市』は、従来通り時代劇映画の企画募集ですが、今年度は 2 日間に渡りイベントを実施しました。11/3 は、京都府京都文化博物館にて企画相談会、フィルムシアターにて優秀映画企画上映会、11/4 は、コンテスト会場を映画館の京都みなみ会館(新館オープン)に移して、より多くの来場者のもとで企画コンテストを開催しました。
- また、京都における映像制作の奨励並びに若手クリエイターの世界発信を目的とした『京都デジタルアミューズメントアワード』の専門調査を行いました。

## (2) 内外の市場整備事業

- ① 令和元年度コンテンツ産業新展開強化事業（コンテンツ関連ビジネスマッチング事業） 経済産業省
- 日本コンテンツの国際取引活性化や新市場創出に資する、1. 新人・若手クリエイターが活躍できる機会を創出するビジネスマッチングモデルの確立、2. 先進技術を活用し新たな連携が行えるビジネスマッチングモデルの確立、3. 新興マーケットへ安心して進出できるビジネスマッチングモデルの確立を目的とした、コンテンツ国際ビジネスマッチングイベントを引き続き開催しました。

## 事業全体の座組み



### I. コンテンツ国際ビジネスマッチングの実施

- 1) 「釜山国際映画祭の企画マーケット APM 攻略プレゼンテーション」  
(5月30日、VIPOホール)  
アジアで最も注目されている釜山国際映画祭の併設マーケットである APM(Asian Project Market)から担当責任者であるパク・セリ氏と、APMに参加経験のある映画「夜明け」の広瀬奈々子監督と西川朝子プロデューサーを迎える APM を日本に紹介し、今年 APM で実施する企画ピッチとマッチングに参加するきっかけづくりを目的としたセミナー、及びパネルディスカッションを実施しました（モデレーターは長谷川敏行 Skip シティ国際 D シネマ映画祭、プログラミングディレクターに依頼しました）。映像系の会社などから 40 名近くが出席しました。
- 2) 「アヌシー国際アニメーション映画祭 MIFA ピッチング (Shoot the book anim')」(6月12日、フランス・アヌシー)  
世界最大のアニメーション映画祭であるアヌシー国際アニメーション映画祭併設マーケット、MIFA のピッチングイベント Shoot the book anim' に公募で選ばれた出版社（1社）のプロデューサーが、小説のアニメ化を目指す海外プロデューサー向けにピッチを行いました。また、カクテルや B2B のマッチングの場にも参加しました。  
ピッチセッションには約 30 名が参加しました。また、今回はプロデューサーのピッチ力向上のため、事前にピッチトレーニングを実施しました。
- 3) 「アヌシー国際アニメーション映画祭 ビジネスマッチング (Industry

### Territory Focus)」(6月12日、フランス・アヌシー)

アヌシー国際アニメーション映画祭併設マーケット MIFA の産業向けセミナー枠 Industry Territory Focusにおいて、日本のアニメ産業の発展につながる内容のパネルディスカッションを実施しました。パネラーとして、フジテレビの深夜アニメ「キャロル&チューズデイ」から製作担当である(株)ボンズの南雅彦代表取締役社長と(株)フライングドッグの西辺誠ディレクター、人気海外アニメ「44 Cats」から製作会社 RAINBOW のクリスティアーナ・ブッゼーリ氏の3氏を迎えるました。また、モデルレーターは SUN BRIDGE 代表/CITIA 日本代表の山口晶氏が務めました。大人向けと子供向けというターゲットが違う2作品でしたが、マーケット戦略の違いが浮き彫りになる興味深いパネルとなりました。参加者は35名でした。

### 4) 「第12回日中韓文化コンテンツ産業フォーラム実務者会議」(6月24日～25日、韓国・釜山)

11月14日(木)～15日(金)まで韓国・釜山で開催される「第12回日中韓文化コンテンツ産業フォーラム」に向けた実務者会議が開催されました。主催者として、日本からは経済産業省、韓国からは文化体育観光部、中国からは文化観光部、また3カ国の文化産業協力体として日本からはVIPO、韓国からはKOCCA、中国からは対外文化集団公司が参加し、11月の本フォーラムに向けた事前協議を行いました。

### 5) 「プチョン国際ファンタスティック映画祭 ピッチング (NAFF It Project)」(7月1日～3日、韓国・富川)

アジア最大のジャンル映画企画マーケットであるプチョン国際ファンタスティック映画祭併設、「NAFF It Project」に日本から公募で選ばれた1作品の監督とプロデューサーを派遣し、世界から招待された出資者、映画祭担当者、プロデューサーなどを相手にピッチを実施しました。ミーティング数は16件、そのうち継続は3件、継続の可能性ありは5件となりました。

### 6) 「ロッテルダムラボ 企画マーケット攻略プレゼンテーション」(7月24日、VIPOホール)

ロッテルダム国際映画祭の併設企画マーケット「CineMart」とプロデューサー育成プログラム「Rotterdam Lab」を日本に紹介。現地よりPR担当のミーリヤム・クロートウィック氏を迎える、今年1月に

「Rotterdam Lab」に参加した登山里紗氏（十一合同会社、プロデューサー）に経験を語ってもらいながらパネルディスカッションを実施しました（モダレーターは長谷川敏行 Skip シティ国際 D シネマ映画祭、プログラミングディレクターに依頼しました。）。来年の参加への足がかりとすべく、28名の出席者の7割からは「CineMart に是非応募したい」との回答がありました。

- 7) 「China Joy ビジネスマッチング@上海」(8月2日、中国・上海)  
中国音像与数字出版協会遊戲出版工作委員会との共催で、日中双方のゲーム会社等による基調講演やパネルディスカッション、日本企業19社による自社のIP等のプレゼンテーションと中国のゲーム会社等24社とのビジネスマッチングを行いました。中国からは大手を含む200社以上、日本からも30社以上が参加し、ビジネスマッチングでは日本のIP等の人気の高さが伺えました。日本企業へのアンケートでは、95%以上が「有意義なビジネスマッチングだった」と回答しました。
- 8) ASIA CONTENT BUSINESS SUMMIT (ACBS) & FILM FESTIVAL  
(9月19日～21日、インドネシア・ジャカルタ)  
第8回を迎えたACBS（本年度主催：Bekraf、事務局：経済産業省）に、アジア9カ国・地域が参加しました。カンファレンスでは、経済産業省の高木美香課長が「コンテンツ業界の発展と政策」をテーマに、別のカンファレンスでは、「アジア三面鏡 2016：リフレクションズ」統括プロデューサーとしてユニジャパンの久松猛朗氏が「映画の国際共同制作」をテーマにスピーチしました。最終日には各国が共同声明に署名し、プレスカンファレンスで発表されました。  
併催されたFilm Festivalでは、8カ国から12作品が上映されました。（日本からは9/21に「アジア三面鏡 2016：リフレクションズ」が上映され、動員はトップの65名でした。）
- 9) 「APM企画マーケット 出展&ピッチング」(10月5日～8日、韓国釜山)  
5月に開催した「釜山国際映画祭の企画マーケット APM 攻略プレゼンテーション」を受けて参加者を募集しました。応募された16企画から5企画を選び、監督やプロデューサーが参加する36m<sup>2</sup>のジャパンブースを出展しました。  
ブースでは世界の映画関係者に対してピッチング（個別ミーティング）

を実施し、来場者と各企画担当者のコミュニケーションを諂る場を設けました。総ミーティング数は 100 件近くに上りました。

- 10) 第 12 回日中韓文化コンテンツ産業フォーラム（11 月 14 日～15 日、韓国・釜山）  
「ゲームと e スポーツを通じた 3 カ国コンテンツ交流の活性化」テーマに、ホスト国である韓国・釜山にて「政府間会議」「専門家フォーラム」「日中韓企業交流会」等のプログラムが開催されました。
- 11) 「企画マーケット@北京」（11 月 21 日、中国・北京）  
日本放送作家協会、日本シナリオ作家協会、JC FORWARD の協力の下、日本の脚本家と中国の映像会社/プロデューサーとのマッチングを行いました。日本からは若手や著名な脚本家 10 名、中国からは 10 社が参加、総当たりで計 100 件のビジネスマッチングを行い、日本の参加者からは「有意義だった」との声が多数寄せられました。
- 12) 「ロッテルダムラボ企画マーケット ピッチング」（1 月 26 日～29 日、オランダ・ロッテルダム）  
7 月の「ロッテルダムラボ企画マーケット攻略プレゼンテーション」で「Rotterdam Lab」の参加意義を解説し、映画の国際共同製作を目指すプロデューサーを募集しました。応募 17 名から 3 名を選出し、5 日間のワークショップ（ピッチング、脚本開発、プロデュース、マーケティング、マネージメント、共同製作、セールス、ポストプロダクション等）や、「CineMart」に参加する世界各国のプロデューサー、セールスエージェント、配給会社等の映画関係者とのミーティング等を通じて、彼ら自身の企画の売り込み、ネットワーキングの構築を図りました。ネットワーキングの結果として名刺交換数は 81 枚でした。
- 13) 「kidscreen summit 出展&ビジネスマッチング」（2 月 10 日～13 日、米国・マイアミ）  
北米最大のキッズエンターテインメント産業見本市、Kidscreen Summit 2020 に昨年に続き、2 度目のジャパンベースを出展しました。ブースサイズを昨年の 2 倍 ( $18 \text{ m}^2$ ) として、計 9 社（昨年 6 社）の日本企業が参加し、4 日間の会期中、海外マーケットへ自社コンテンツを展開するため商談の機会を持ちました。

各社は、商談の他、さまざまなセッションやネットワーキングに参加し、日本のキッズコンテンツのプレゼンス向上に大きく貢献しました。ジャパンベース参加企業が4日間で行った商談は合計109件。

#### ※中止

- 14) 「NAFF It Project 攻略プレゼンテーション」(3月4日、VIPOホール)

2020年7月に開催されるプチョン国際ファンタスティック映画祭、その企画マーケットであるNAFF it Projectについて、紹介するセミナーを開催する。併せて、映画祭、プロデュサー育成のプログラムである、NAFF Fantastic Film Schoolについても紹介する。

⇒新型コロナウィルス(COVID-19)の影響で中止

#### 【ビジネスマッチング実施スケジュール】

	2019年								2020年		
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
APM企画マーケット攻略プレゼンテーション	[準備]★5/30実施(済)										
アヌシー国際アニメーション映画祭 MIFAピッチング(Shoot the book anim*)	[準備]★6/12実施(済)										
アヌシー国際アニメーション映画祭 ビジネスマッチング(Industry Territory Focus)	[準備]★6/12実施(済)										
日中韓文化コンテンツ産業フォーラム@ブサン	[準備]★6/24準備会合実施(済)				[準備]★11/14,15実施(済)						
プチョン国際ファンタスティック映画祭 ピッチング(NAFF It Project)	[準備]★7/1~3実施(済)										
ロッテルダムラボ企画マーケット攻略プレゼンテーション	[準備]★7/24実施(済)										
China Joy ビジネスマッチング@上海	[準備]★8/2実施(済)										
ASIA CONTENT BUSINESS SUMMIT(ACBS)			[準備]★9/19~21実施(済)								
APM企画マーケット 出展&ピッチング				[準備]★10/5~8実施(済)							
脚本家ビジネスマッチング/企画マーケット@北京					[準備]★11/21実施(済)						
ロッテルダムラボ企画マーケットピッチング						[準備]★1/25~29実施(済)					
kidscreen summit 出展&ビジネスマッチング							[準備]★2/10~13実施(済)				

## II. ビジネスマッチング運営会議の実施

- 1) 「コ・フェスタ 2019 実行委員会」(7月18日、東京)

コンテンツ業界団体、関係省庁、政府機関、関係自治体の代表及びコンテンツ関連イベント主催者の代表で組織をし、各イベント内容の紹介、今年度の事業内容について説明を行い、各イベント間の連携と情

報共有を図りました。

場所：TKP 新橋カンファレンスセンター

出席者総数：52 人（内訳：委員-25 人（代理 13 人含）、委員随行員-13 人、イベント関係者-14 人（委員/随行との重複除く）

2) 「第 1 回ビジネスマッチング運営会議」（9 月 3 日、VIPO ホール）

参加者：経済産業省コンテンツ産業課

映像産業振興機構（VIPO）

公益財団法人ユニジャパン

一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団（JMCE）

一般財団法人デジタルコンテンツ協会（DCAJ）

一般社団法人日本動画協会（AJA）

各イベントの進捗状況説明及び連携の可能性について、各担当者（公益財団法人ユニジャパン、一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団（JMCE）、一般財団法人デジタルコンテンツ協会（DCAJ）、一般社団法人日本動画協会（AJA））より、説明がされました。

VIPO が実施したマッチング事業/イベントに関しては、終了している事業の報告をいたしました。

経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課の佐野氏より、次年度以降について、公表された概算要求等の情報共有がなされました。

2020 年以降の JCS、TIFFCOM について開催時期や開催内容について、どうあるべきかの意見交換がされました。

3) 「第 2 回ビジネスマッチング運営会議」（2020 年 1 月 17 日、VIPO ホール）

参加者：経済産業省コンテンツ産業課

映像産業振興機構（VIPO）

公益財団法人ユニジャパン

一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団（JMCE）

一般財団法人デジタルコンテンツ協会（DCAJ）

一般社団法人日本動画協会（AJA）

各イベント担当者（公益財団法人ユニジャパン、一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団（JMCE）、一般財団法人デジタルコンテンツ協

会（DCAJ）、一般社団法人日本動画協会（AJA）より、イベントの終了報告、また、VIPO が実施した各ビジネスマッチング事業の終了報告がされました。

経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課の佐野氏より、今年度のビジネスマッチング事業についての総括をいただきました。

次年度の JCS については、従来までの形式は取りやめる方針であり、そのうえで、新しいコンセプトを策定することが可能かどうかの検討を進めていく旨の情報共有がされました。

また、来年度以降、ビジネスマッチング運営会議をどのような形で実施していくべきかの意見交換をしました。

## ② マンガ家志望者支援事業 （京まふ 2019） 京都市

今年度より京都市から『マンガ家志望者支援事業』を受託して「京都国際漫画賞」と「マンガ出張編集部」を実施しました。「京都国際漫画賞」は日本を含む全世界に対象国を拡大。さらにイラスト部門を新設した結果、26 の国・地域から 1,227 作品の応募がありました。受賞者は「マンガ出張編集部」に原稿を直接持ち込みプロになるきっかけを提供しました。過去受賞者の中では 3 名の海外作家が日本デビューを果たしています。「マンガ出張編集部」では 60 編集部に参加して頂き、225 名の参加者が持ち込んだマンガ作品に対しアドバイスを行いました。

## ③ コンテンツグローバル需要創出等事業費補助金 経済産業省

平成 30 年度補正予算による「コンテンツグローバル需要創出等促進事業費補助金（J-LOD）」の募集を平成 31 年 2 月 18 日より開始し、令和 2 年 3 月 31 日に事業を完了しました。今年度は、1) 「コンテンツ等の海外展開を行う際のローカライズ及びプロモーションを行う事業」、2) 「海外展開を目指すコンテンツの企画・開発として試作映像等を制作する事業」、3) 「デジタル技術を活用した先進性の高いコンテンツ等の開発等を行う事業」の 3 種類の補助金として実施しました。

事業の略称：「J-LOD」（読み：ジェイロッド、LOD 意味：Localization & Distribution）。

1)の補助金は、全 533 件が採択されました。2)の補助金は、全 33 件が採択されました。3)の補助金は、3)-1 「世界に向けて発信するデジタル技術を活用した先進性の高いコンテンツの制作補助金」が 8 件、3)-2-1 「ブロックチェーン技術を活用したコンテンツの流通に関するシステムの開発・実証支援」が 11 件、3)-2-2 「コンテンツ製作の生産性向上に資するシステ

ムの開発・実証支援」が3件それぞれ採択されました。

コンテンツグローバル需要創出等事業費補助金の中でJapan Creator Bankを開発、令和元年10月17日に公開しました。Japan Creator Bankは、日本のエンタテインメント業界で活躍している日本のトップクリエイター（脚本家、監督、俳優、声優、作曲家、プロデューサー）を検索できるウェブサイトです。このサイトには、検索機能だけではなく問い合わせ機能も実装されていますので、本サイト上で仕事の相談・依頼等を行うことが可能です。

現時点で合計660名（脚本家：160名、監督：111名、俳優：208名、声優：121名、作曲家：56名、プロデューサー：4名）のクリエイターが登録されています。広報活動としては、①TIFFCOM・TIMMでのブース出展、②ATFでのリーフレット配布、③WePlayでのリーフレット配布、④EFMでのブース出展、⑤「Variety」「Hollywood Reporter」「Screen International」での紙面広告、⑥Weiboでのバナー広告、⑦GoogleでのWeb広告を実施しました。令和2年3月18日までの累計ユーザー数は6,634人、累計ページビュー数は38,871PVです。

#### ④ コンテンツグローバル需要創出促進・基盤整備事業費補助金

経済産業省

令和元年度補正予算による「コンテンツグローバル需要創出促進・基盤整備事業費補助金（J-LOD）」の募集の一部を令和2年2月19日より開始しております。今年度は、1)「コンテンツ等の海外展開を行う際のローカライズ及びプロモーションを行う事業」、2)海外向けコンテンツ製作に資する資金調達・人材育成を行う事業、3)先進性の高いコンテンツの開発／制作・発信を行う事業、4)コンテンツのサプライチェーンの生産性向上に資するシステム開発を行う事業、5)デジタル配信を念頭においたストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業の5種類の補助金となっております。事業の略称：「J-LOD」（読み：ジェイロッド、LOD意味：Localization & Distribution）。

#### ⑤ コンテンツ活用促進事業

東京都

令和元年度予算における当該事業の事務局を受託しております。この事業では、コンテンツ企業と異業種企業（「製造」・「医療」・「教育」・「商店街」・「小売り」を軸に募集）のニーズを踏まえたセミナーを開催すると共に、相互の連携を促進するためのマッチング交流会を12月12日（木）実

施致しました。

昨年度開催後、参加者からのフィードバックを元にして、今年度は

- 1)マッチングイベント (実施マッチング 134組)
- 2)セミナー 3本
- 3)各社デモならびに交流会

を同時並行開催とし、参加者の皆様により効率的な時間を過ごしていただきました。定員 100 名に対して 115 名の参加者を得て、その内訳は

コンテンツ企業 39 社 55 名  
異業種企業 17 社 26 名  
オブザーバー企業 (コンテンツ系) 14 社 24 名  
オブザーバー企業 (異業種系) 8 社 10 名

となっております。

#### ⑥ 平成 31 年度 メディア芸術海外展開事業 文化庁

文化庁が主催している『メディア芸術祭』の受賞作品・作家等を中心に海外で紹介・展示・プロモーションする事業です。今年は 6 月にアヌシー国際アニメーション映画祭 (フランス)、9 月にアルス・エレクトロニカ (オーストリア)、11 月にマンガ・バルセロナ (スペイン) で上映・展示・パフォーマンス、トークイベント等を実施し、その他 10 カ所程度の上映を行いました。特にアヌシーは主催者および東京都と協力してジャパンイヤーを実施し、日本のアニメーションの多様性とクオリティの高さを世界に示すことができました。

#### ⑦ アーカイブ中核拠点形成モデル事業 文化庁

前年度に引き続き、映画関連の非フィルム資料のアーカイブに係る中核拠点形成 (京都) のための調査研究等、事業を受託しました。

今年度は、調査研究範囲を関西地区 (神戸映画資料館) および京都で制作された映画作品の資料 (松竹大谷図書館所蔵資料) に広げるとともに、デジタルデータベース構築に関わる実証研究を実施しました。3 月実施予定であった資料保存に係る関係者のネットワーク化を図る「全国映画資料アーカイブサミット 2020」は次年度に繰り越して開催する予定です。

#### ⑧ 全国ロケーションデータベースの利用促進のための調査(新規) 文化庁

全国のフィルムコミッショングが保有している情報をネット上に集約し国内外に向けて情報提供を行う「全国ロケーションデータベース」利用促進のための調査事業です。運営事務局をジャパン・フィルムコミッションとコ

ンソーシアムを組み双方のネットワークを活かした運営を行いました。具体的には、JL-DB システムの課題等について調査を実施しました。また、ジャパン・フィルムコミッショն設立 10 周年記念総会(10 月)でのシンポジウム「海外映像制作者がフィルムコミッショնに求めるもの」を運営致しました。加えて地域 FC の受け入れ態勢強化の一環として JFC と連携し、「JFC 認定研修 2019」(7 月)、「ツーリズム EXPO ジャパン in 全国ロケ地マップフェア」(10 月)、「JFC 全国ロケ地フェア 2020」(1 月)、「JFC スキルアップ研修 2020」については昨年度のサポートに引き続き、本年度は運営・サポートを行いました。

⑨ 地域経済の振興等に資する外国映像作品ロケーション誘致に関する実証調査事業（新規）内閣府

内閣府知的財産戦略推進事務局による「ロケ撮影の環境改善に関する官民連絡会議」における議論等を踏まえ実証調査として行う事業です。日本において製作・撮影される海外映像作品に対し、製作費用の一部を実費支援してロケ誘致の成功事例を創出し、それによる地域経済の振興等の効果を把握する事を目的としています。

本年度は日本を舞台とする海外製作映画作品『唐人街探案 3』、『G. I. ジョー 漆黒のスネークアイズ』の 2 作品を調査対象作品に選定し、全国各地のロケ等の調査活動を実施しました。

⑩ フランスにおける映画振興に対する助成システム等に関する実態調査（新規）独立行政法人日本芸術文化振興会

令和 2 年 2 月、日本芸術文化振興会よりフランスにおける文化政策及び文化関係予算の概要、文化政策、文化関係予算及び税制における映画振興の位置づけ、映画振興を担当する組織の概要及び映画振興への助成システム等の具体的な内容に関する実態調査を受託致しました。

本件調査は、公益財団法人川喜多記念映画文化財団と共同で実施するものです。

（3）自主事業

① VIPO アカデミー

2015 年 5 月に 1 コースを開設し、今年度は 5 年目を迎えました。コンテンツ業界各社に確実に浸透して来ており、アカデミーに参加することを目的に入会する企業も数社現れて来ています。様々な企業との直接的なコンタクトにより、各社のニーズを把握する機会が生まれ、VIVO の活動拡大の可

能性に繋がって来ております。又、各コースに VIP0 スタッフ（出向者含め）が参加することにより、スタッフのスキル、知識及びモチベーションの向上にも繋がっております。

#### I. 春期（5月～8月）の実績（以下、参加者人数は、VIP0 スタッフ除く）

「コーポレートリーダーコース」参加者 12 名

「プロジェクトリーダーコース」参加者 16 名

「グローバルビジネスコース」参加者 8 名

#### II. 秋期（9月～11月）の実績（3/13 現在）

「コーポレートリーダーコース」参加者 13 名

「プロジェクトリーダーコース」参加者 12 名

「グローバルビジネスコース」参加者 5 名

「リーガル・エッセンシャルコース」参加者 15 名

「ファイナンス・エッセンシャルコース」参加者 7 名

#### III. 冬期（12月～3月）の募集状況（3/13 現在）

「業界研究ベーシックコース」参加者 14 名（一括）

単発：73 社 131 名申込み

全 11 回のべ 306 名受講、平均 27.8 名

「ファイナンス・エッセンシャルコース」参加者 6 名

#### IV. インハウス研修その他

前年度より実施している企業への派遣型研修を東宝、レコチョク（2回目）、スペースシャワーネットワークにて実施、12月に卒業生に向けた合同同窓会、経産省主導のシミュレーションゲーム体験会を実施、2月にコーポレートリーダーコースのリーダーシッププログラムの短期講座、人事や研修担当者向けの体験講座を実施しました。

#### V. 来年度への展望

2020 年 5 月には開講より 5 周年を迎え、6 年目になります。更なるコース内容の充実と受講者のニーズに対応するために、各コースの講義内容や講師の精査、企業へのヒアリングを実施しており、それを元に必要な変更を実施します。前年度より開催している派遣型の講座および短期講座の開講を推進することで、参加企業、参加者の増加及び事業採算の向上を目指します。

また、今回のコロナウイルス感染拡大を受けて緊急措置として 2 月末の（ベーシックコース）講座より YouTube ライブ、Zoom を使ったオンライン受講の形態も導入。回線状況により、品質の完全な担保は難しいものの受講者には概ね好評。来期も必要性や地方からの参加者の増加を目指してオンライン受講の導入を検討します。

5 周年の節目として、「VIP0 アカデミーアワード」を開設、2 月よりエントリーを開始して、6 月に表彰を行います。VIP0 アカデミー受講企業のさらなるビジネス活性化と、受講者同士のコラボレーション促進を目指し、受講者（受講企業）同士の手による優れたコラボ商品、映像作品、音楽作品、イベントなどを表彰する取り組みです。

## ② セミナー・ワークショップ事業

### ■ 「デジタルコンテンツの配信最前線」セミナー

（4 月 5 日、コンテンツ東京@東京ビッグサイト）

前田裕二氏（SHOWROOM（株）代表取締役社長）

レネ・ファスコ氏（Amazon ジャパン（同）デジタル音楽事業本部事業本部長）

参加者：約 1,400 名

### ■ 「福井健策弁護士法律セミナー 動画制作・ライブイベントに必須の音楽著作権講座 ステップ・アップ編」（4 月 17 日@VIP0 ホール）

参加者：60 名

### ■ 「エンタメマーケター養成講座 Reiwa ver. 01」（全 4 回 6/10、6/17、6/24、7/1@VIP0 ホール）2017 年から好評につき第 3 弾

メイン講師：鈴木貴歩氏（ParadeALL（株））

第 1 回（参加者：29 名）、

ゲスト講師：梶望氏（ソニー・ミュージックレーベルズ 第三レベルグループ EPIC レコードジャパン Office RIA 制作部部長）

第 2 回（参加者：25 名）、

ゲスト講師：藤田和重氏（アライドアーキテクツ（株）グローバル事業部プロデューサー）

第 3 回（参加者：26 名）、

ゲスト講師：妹尾有高氏（Collab Japan（株）Head of Business Development）

第 4 回（参加者：26 名）、

ゲスト講師：久保浩章氏（（株）フラッグ代表取締役）

■ 「第13回 プロデューサーズ・カフェ」(7月25日@VIPOホール) NHK  
「半分、青い」勝田夏子氏×「ハラスメントゲーム」田淵俊彦氏  
参加者：43名  
主催：(一社) 日本映画テレビプロデューサー協会 協力：VIPO

■ VIPO X SOZO presents 「東南アジア エンタメビジネスの現状と展望」  
セミナー (7月31日@VIPOホール)  
ショーン・チン氏 (SOZO Pte. Ltd. 創業者、代表取締役)  
参加者：46名（午前の部）、48名（午後の部）

■ 「アクターズワークショップ」第7弾 (8月6日@VIPOホール)  
前田哲氏（映画監督、「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」）  
参加者：37名（俳優）

■ 「eスポーツ×映像コンテンツ業界の共生と未来」  
(8月9日@VIPOホール)  
講師：馬場章氏（滋慶学園COM名誉学校長）  
参加者：61名

■ 「福井健策弁護士法律セミナー いま知りたい、日本原作の海外ライセンス攻略法～対ハリウッド契約を中心に～」  
(8月22日@VIPOホール)  
参加者：62名

■ 「エンタメマーケター必見！ TikTok から学ぶ、ショートムービーマーケティング講座」(8月28日@VIPOホール)  
鈴木 瑛（あきら）氏 (ByteDance (株) X Design Center/ Head of Design Center)  
参加者：44名

■ VIPO X BUSHIROAD presents 「米国市場でのアニメ関連IP展開戦略」セミナー (9月25日@VIPOホール)  
中山淳雄氏((株)ブシロード執行役員、早稲田大学ビジネススクール講師)  
参加者：34名（午前の部）、39名（午後の部）

■アクターズセミナー（10月10日　@VIP0ホール）

講師：今泉力弥氏（映画監督）

参加者 52名

■業界研究セミナー@城西国際大学（10月19日、27日）

城西国際大学の学生向けに、コンテンツ各業界の業界研究+キャリアセミナーを実施。

登壇企業：

19日　ディスクガレージ / TAMCO / クオラス / オゾンネットワーク / LDH JAPAN / 松竹エンタテインメント

27日　AOI Pro. / シネバザール/日本アニメーション / 旭プロダクション/ブシロード / サクセス

参加者：約100名（19日）、100名（27日）

■映画脚本読み込み講座（10月24・25日　2日間　@VIP0ホール）

講師：加藤正人氏（脚本家）

参加者：22名

■テレビドラマ制作セミナー　ドラマファンを魅了する人間ドラマのつくり方（11月6日　@VIP0ホール）

講師：羽原大介氏（脚本家　NHKエンタープライズプロデューサー）

参加者：40名

■海外見本市で役立つ英語ショートピッチトレーニングプログラム

（11月11、25日、12月9、16日　全4回　@VIP0ホール、JVTA）

講師：風早完次氏（CultureConnect）、日本映像翻訳アカデミー（JVTA）

参加者：8名

■映画プロデューサー養成講座　基礎編　（11月20、21日　@VIP0ホール）

講師：安藤紘平氏（早稲田大学名誉教授）

ゲスト講師：上田慎一郎氏（映画監督）

参加者：16名

■中国ビジネス攻略セミナー（12月5、6日　@VIP0ホール）

講師：分部悠介氏（FORWARD グループ総代表・CEO）  
参加者：5日ビジネス編 55名 6日法律編 48名

■「福井健策弁護士法律セミナー いま知りたい、日本原作の海外ライセンス攻略法～対ハリウッド契約を中心に～」追加開催  
(12月13日 @VIVOホール)  
参加者：57名

■テレビドラマ制作セミナー 再始動する続編ドラマのつくり方  
(2月21日 @VIVOホール)  
講師：尾崎将也氏（脚本家）、関西テレビプロデューサー<sup>1</sup>  
参加者：57名

#### ※延期

■アクターズワークショップ（3月24、25日 2日間 @VIVOホール）  
講師：吉川邦夫氏  
※コロナウイルス感染拡大防止と参加者の安全を考慮し、開催延期。

#### ※中止

■中国ビジネス攻略セミナー“2020年3月版”（3月5、6日 @VIVOホール）  
講師：分部悠介氏（FORWARD グループ総代表・CEO）  
※コロナウイルス感染拡大防止と参加者の安全を考慮し、開催中止。

（総参加人数：2,535名）

### ③ ジャパンアンバサダー事業

日本文化の海外展開およびインバウンドにおけるさまざまな課題を親日の外国人のサポートによって支援する事業です。発信、体験、調査、言語の4つの視点から解決するマーケティングサービスを提供しています。3年目になる今年は問合せ数、受注数共に増え、特に欧米豪を対象としたインバウンド関連の案件が増えましたが、コロナウイルスの影響により、2月に実施予定だった3件が直前で中止となっています。

#### I. 実施状況（受注内容、件数）

- ・調査関連：3件
- ・体験・発信等プロモーション関連：17件

- ・多言語対応支援：2件
- ・その他(会議出席、撮影協力など)：4件

合計件数：26件

## II. 内訳

- 1) 調査：3件
  - ・クオラス「手書き文字に関する調査」(対象：中国、米国)
  - ・民放連「アジア各国における日本のテレビ番組視聴に関する調査」(対象：アジア5か国)
  - ・KPMG「在日外国人に対する調査」(対象：アジア4か国の出身者)
- 2) 体験・発信等プロモーション関連：17件
  - ・日本アニメーション「アニメ作品の海外向け紹介文作成」
  - ・共同ピーアール「ものづくり・匠の技の祭典2019」取材・発信
  - ・JFN「日本酒キャンペーン」取材・発信
  - ・石田大成社「浜松・浜名湖モニターツアー」体験(2回)
  - ・石田大成社「佐渡モニターツアー」体験(2回)
  - ・石田大成社「吉祥寺飲み歩きツアーア」体験
  - ・JFN「北海道日本酒キャンペーン」取材・発信
  - ・ドリル「大丸心斎橋店 アートイベント」取材・発信
  - ・共同通信デジタル「会津若松メディアトリップ」取材・発信(2回)
  - ・JTB「関西メディアトリップ」取材・発信
  - ・グローバルデザイン「千葉県Facebook用記事作成」取材
  - ・広研「庭園美術館の外国人向けプロモーション」取材・発信
  - ・ツナガル「江戸秋夜会」取材・発信
  - ・サクラインターなショナル「守口市モニターツアー」取材・発信
  - ・ReeBen「外国人向けマンガ体験イベント」モニター
  - ・石田大成社「岐阜県東美濃地方FAMトリップ」体験・発信
  - ・NTTソルマーレ「スマホゲーム」モニター
- 3) 多言語対応支援：2件
  - ・ブルームーン マーケティング  
「成田空港でのアンケート調査」言語支援
  - ・VIPO イベント出展時のブースの言語支援
- 4) その他：4件
  - ・東京観光財団(TCVB)「TCVB主催セミナー」講師  
(外国人インフルエンサーとして)
  - ・石田大成社 鳥羽市サイクリング会議出席

- ・石田大成社 伊勢志摩サイクリングコース試走と会議出席  
(サイクリング経験者の外国人として)
- ・民放連「Jシリーズフェス in ミャンマー」映像制作協力

#### ④ AFI Conservatory 日本人留学生推薦事業

将来の映像産業を担うプロフェッショナルの発掘と育成を目指すと共に、日本の映画企画や若手クリエイターが世界に出ていく仕組みを構築することを目的とし、AFI (American Film Institute) Conservatory へ留学を希望する日本人の推薦活動を運営しております。AFI Conservatory への入学が正式に決定した場合、“T. Y. 奨学金制度” が AFI Conservatory の判断により給付される可能性があります。

また、将来的には留学生、卒業生等の講演やワークショップを日本で実施するなど、AFI へ留学を希望する日本人の数および質の向上を目指しております。

- ・VIPO 内サイトにおいて募集告知及び会員を含め約 10,000 名に告知メール配信 (8 月)。
- ・映像・演劇関連 2 サイトに告知投稿 (9 月)。
- ・募集前後に本年度問い合わせ 3 件あり (2019 年 9 月、10 月)。
- ・締め切りは 10/15、本年度は応募 2 件。
- ・書類選考にて 1 名を選出したが、当事業の趣旨に沿わないという観点から、推薦を見送った。

#### ⑤ 交流促進事業

##### I. 海外の同様の機関等と交流の推進

- 1) 令和元年 5 月 20 日 (月) 中国文聯文芸研修院の副院長とするマカオの芸術関係者約 20 名が VIPO を訪問。VIPO の概要及び事業内容、日本のコンテンツ産業の概況等を講演し、その後意見交換を実施。
- 2) 10 月 28 日 (月) 外務省が推進する事業である対日理解促進交流プログラム「JENE SYS2019」の ASEAN 招へいプログラム (テーマ：日本語コミュニケーション・日本文化交流 対象国：フィリピン) にて訪日するフィリピンの高校生約 20 名を受入れ、日本のコンテンツについて概要を講演すると共に意見交換を実施。

#### ⑥ 情報サービス事業

JACC (Japan Content Catalog) は現在、約 10 万 2 千項目が登録されており、内約 9 万 8 千項目が英語化され、内 5 千項目が中国語化されています。

VISS (Vipo Integrated Support System) については、海外ライセンシングエージェントリスト/国別表現規制情報/国別共同製作支援制度情報を更新し、中国の配信事業者情報を新たに調査しました。

JAPACON では FaceBook ページにおいて海外に向けて継続的に日本のコンテンツ情報を発信しております。

※Japan Creator Bank については、上記のコンテンツグローバル需要創出等事業費補助金の記載を参照ください。

#### (4) 組織運営

##### ① 会員の状況

###### I. 新規入会

個人会員 0 名 法人会員 2 社 賛助会員 0 社

###### II. 退会

個人会員 0 名 法人会員 3 社 賛助会員 0 社

###### III. 現在の状況

- 会員数：個人会員 4 名 法人会員 99 社 賛助会員 9 社

- 会費及び入会金 入金額(予定含む) 50,180 千円 (昨年比 190 千円減額)

##### ② 通常総会、理事会、幹事理事会

###### I. 通常総会

令和元年 6 月 19 日に通常総会を開催し、平成 30 年度の事業報告・会計報告、令和元年度の事業計画・予算・役員の選任等について決議いただきました。

###### II. 理事会

- 令和元年 6 月 5 日に開催し、通常総会の審議事項について決議いただきました。
- 令和元年 6 月 19 日の通常総会後に開催し、幹事理事の互選について決議いただきました。
- 令和元年 11 月 26 日に開催し、中間事業報告を行いました。

### III. 幹事理事会

- ・令和元年 6 月 5 日に開催し、平成 30 年度の事業・会計の報告を行いました。また、令和元年度の事業計画(案)・予算(案)・役員の選任(案)、幹事理事互選(案)について報告を行いました。
- ・令和元年 11 月 26 日に開催し、中間事業報告を行いました。

### IV. 会員交流会

令和元年 6 月 19 日に当機構会員・役員、関係省庁（内閣府知的財産戦略推進事務局、総務省、外務省、文化庁、経済産業省）関係団体・企業の皆様をお招きして交流会を開催し多数のご参加を頂きました。本会では同日に行われた通常総会のご報告をするとともにご出席の皆様の交流を深めていただきました。

#### (5) 広報活動

##### ① 「VIPO 年間活動報告 2018」の発行

「VIPO 年間活動報告 2018」(32 ページ) を 6 月 19 日付にて発行し、総会、会員交流会等で配布しました。事業・広報活動等で“対面”で説明する際に活用しております。また、新たに 8 ページ（両観音開き）の「VIPO 事業紹介 2018」という冊子（簡易版）を作成し、こちらは、不特定多数への配布用として利用しています。さらに海外向けとして、VIPO のミッションやサービス内容をメインとしたシンプルな英語用のリーフレット（A4 半分サイズ/2 ページ）も作成（英語サイトに誘導するための QR コードを記載）し、海外でのイベント等で使用しています。

##### ② ホームページの運営

ホームページにおいて、随時活動報告及びコンテンツ業界の情報を掲載いたしました。

2016 年 9 月より開始したコンテンツ業界に関わる人やイベントをテーマにしたインタビュー企画では、以下を取り上げました。

- 2019 年 10 月 「ロッテルダム国際映画祭」の企画マーケット「CineMart」攻略法——選ばれた企画の 90% が映画化される理由
- 2019 年 11 月 バンダイナムコエンターテインメントの社長が語る、これまでの挑戦と失敗。成功体験から学ぶ、挑戦する人が生き残れる会社へ。（VIPO アカデミー「コーポレートリーダーコース」講演より再構成）
- 2019 年 11 月 内閣府に聞く——価値デザイン社会におけるクールジ

ヤパン戦略が目指す姿～世界が共感する日本のコンテンツブランドとは？～

- 2019年12月 大きなポテンシャルのある東南アジアにいかに挑むべきか？——AFA創設者ショーン・チン氏が語る、日本企業の強みと弱み、他国の戦略から学ぶこと
- 2019年12月 「デジタルハリウッド大学」の学長が語るデジタルコミュニケーションの重要性と日本の課題とは
- 2020年1月 なぜテレビ東京は独自路線で成功しているのか？！～業績回復を牽引した高橋会長が語るビジネスモデル～
- 2020年2月 「プロデューサー養成講座」の講師・安藤紘平先生に聞く～これからの映画プロデューサーに求められること

また、英語リーフレットに合わせて、英語サイトを最新の事業内容に更新しました。

③ VIP0会員とコンテンツ事業者へのメール配信

VIP0の活動報告を毎月定例で発信する「VIP0プレス」の発行と、会員各社の情報や事業活動などを不定期に発信する「VIP0ニュース」を継続的に発信しました。メールニュースの配信先数（コンテンツ事業者）は、約11,000件（2020年3月10日現在）です。

④ 事業活動情報の記事露出

各イベントへの取材誘致活動やプレスリリース配信などを通し、プレスに対し事業活動の最新情報を定期的に発信することで、業界紙・誌を中心にはパブリシティを獲得いたしました。内閣府のロケ誘致に関する実証調査事業で映画『G.I.ジョー：漆黒のスネークアイズ』の記者会見を行ったことで、文化系記者のほか、経済・政治系の記者からも問い合わせがありました。

→昨年度は約329件（2018年4月1日～2019年3月31日）の記事掲載がありました。今年度は約323件（2019年4月1日～2020年3月18日時点）の記事掲載がありました。

以上